

高次脳機能障害の書籍が完成しました

高次脳機能障害の方も読める7人の物語～あとがき、用語解説付き～

クラウドファンディング達成！
みなさまの善意で完成しました！

「みんなが読める」 高次脳機能障がいの本ができました！

交通事故や脳血管疾患などによって生じる
高次脳機能障がいを持つ人たちの
実際にあったお話をもとにした物語

今日 は くもり、明日 は 晴れ
～みんなが読める、高次脳機能障がい7人の物語～

A5版/190ページ 価額880円(本体800円+税)

「僕は働きたいです」
「学校の先生、わかってくれるかな…」
「そのくらいで障がいなんて…納得できません！」
「体はこんなに元気なのに、働けないはずがない…」
「みんなと同じようにスピードも、正確さも完璧にしたいんだ」

監修 生駒 一憲 北海道大学病院 リハビリテーション科 教授
イラスト 伊藤 竜特 世界福祉支援財団 コミュニケーション
編著 玉川 侑那 北海道大学病院 リハビリテーション科 リハビリテーション科

北海道大学病院リハビリテーション部は、昨年 READY FOR 株式会社が運営するクラウドファンディングサービス「Readyfor」にて書籍制作のためのプロジェクトを実施しました。

全国各地からたくさんの応援メッセージやご支援をいただき、無事目標金額を達成、先日3月30日に「今日 は くもり、明日 は 晴れ～みんなが読める高次脳機能障害7人の物語～」を発売することができました。

#北海道 #社会にいいこと #医療・福祉 #障害者 #大学

高次脳機能障害の本を作りたい／みんなで取り組むプロジェクト

生駒 一憲 (北海道大学病院)

成立

当事者も
まわりも
こうじのうきのうしようがい
高次脳機能障害の本人が主役の
みんなが読める本を作りたい！

自費出版
支援募集

支援総額
3,660,000円 目標金額 2,200,000円

支援者 募集終了日
332人 2021年12月17日

フォローする

プロジェクトは成立しました！

終了報告を読む

シェア ツイート LINEで送る noteで書く

■高次脳機能障害とは

交通事故や脳血管疾患により生じる“高次脳機能障害”は症状が多様で、社会復帰・社会適応に至るまで支援機関の介入が長期化しやすい特性があり、全国に30万人以上いると言われています。

北海道大学病院は約20年間北海道の拠点機関として日々高次脳機能障害の患者さんやご家族の診療に携わり、地域の支援機関と連携を取りながら、この障害への普及啓発に努めています。

■本の概要

登場する7人の患者さんの10～20年の経過を、受傷（発症）前の生活から受診、診断、社会復帰・社会適応の様子について、イラストや短文などを用いながら物語調の本文で記載したもので、各話ごとに用語解説とあとがきを付け、視覚障害がある方も読んで頂けるように本文の各ページには音声読み取りコードも添付しております。

様々な立場の方に読んでいただけるような内容となっています。



■書籍の取り扱いについて

制作した本はクラウドファンディングにご支援いただいた方や関係機関、教育機関等へお送りする他、一般の方向けにも販売することに致しました。

販売委託先：就労継続支援 B 型事業所ここりカ・プロダクション

販売方法：EC サイト BASE でのオンライン注文 <https://kokopro.official.ec>

または販売委託先への直接注文（郵送・FAX 申し込み）

お問い合わせ先

北海道大学病院 医療技術部 ソーシャルワーカー部門 玉川 侑那（たまがわ ゆな）
TEL 011-706-7010 メール kouji-cf@huhp.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学病院総務課総務係（〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目）
TEL 011-706-7631 FAX 011-706-7627 メール pr_office@huhp.hokudai.ac.jp